

令和5年度事業報告

1 事業の重点

令和5年度は、第1次大分県交通安全計画（令和3年度～令和7年度）の3年目にあたり、同計画に沿って交通事故のない社会をめざし、人命尊重を基本理念として、県民一人ひとりに交通安全知識を普及し、交通安全思想の高揚を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣づけることにより、令和7年度までに継続して年間交通事故死者数を34人以下、交通事故重傷者数220人以下を達成するための交通安全活動を推進した。

令和5年度は、活動の重点を基に、現在の社会情勢や活動の継続性を勘案し

- ① 子供の交通事故防止
- ② 高齢者の交通事故防止
- ③ 交通安全のすそを広げる県民運動の推進

の3点を重点活動に掲げ、交通事故のない、安全で安心して暮らせる「優しいマナーと思いやりの運転県おいた」の実現を目指し事業を推進した。

令和5年5月8日以降、新型コロナウイルス感染症の位置づけが2類から5類感染症になり、「ウイズ・コロナ」を前提とした新しい日常生活に戻りつつ人の動きも活発になっているものの感染者は多く存在し、交通安全教室や交通安全イベント等の開催については、コロナ前の令和元年度に比べると活動実績は減少が続いている状況の中、各支部は、地域の実情に応じた最大限の交通安全教育活動や広報啓発活動を展開し、昨年度の活動実績を上回ることができた。

2 重点活動に対する施策

(1) 子供の交通事故防止

ア 幼児に対する交通安全教育

幼稚園・保育園に交通指導員を派遣し、腹話術の他、体験・参加型の交通安全教室（自転車教室を含む）を543回、25,112人に対して実施した。

イ 児童等に対する交通安全教育

新入学児童を対象とした登下校時の交通安全指導、及び小・中学校や地区公民館に交通指導員を派遣し、体験・参加型の交通安全教室（自転

車教室を含む)を延べ434回、23,956人に対して実施した。(小学生388回、18,720人、中学生24回、1,854人、高校生22回、3,382人)

ウ 自転車シミュレータを活用した交通安全教育

学校や地域の行事等に交通指導員を派遣し、自転車シミュレータを活用した体験型の交通安全教室を68回、5,759人に対して実施した。

エ 交通安全子供自転車大分県大会の開催及び全国大会への出場

- 6月17日(土)大分東部公民館において、大分県大会を開催し2校3チームが参加した。(優勝チーム:豊後大野市立百枝小学校)
- 7月20日(木)百枝地区教育振興会主催による全国大会壮行会が百枝小学校で開催され、出場選手4名が練習の成果を披露した。
- 8月9日(水)、東京ビックサイトにおいて開催された「第55回全国大会」に県大会で優勝した百枝小学校を派遣した。

(出場校44チーム中26位)

オ 幼児・児童向けの広報紙等の作成・発行

各支部において作成した、幼児・児童向けの広報紙を毎月、又は随時発行した(発行部数7,601部)。

カ 交通安全啓発グッズの配布

新入学児童に対し交通安全グッズ(交通安全さるーる自由帳、さるーるクアファイル)9,055セット及び各支部独自で選定した物品を配布した。

キ 交通安全レター作戦

日田市内の小学校4~6年生、1,551名に日田支部からハガキを配布し、家族や近親者など身近な人に、交通安全を願う気持ちを書いたハガキを送り、交通安全意識の高揚を図る「交通安全レター作戦」を実施した。(7月中夏休み前に学校毎に投函)

※ 子供の交通事故発生状況(R5年1月~R5年12月)

	件数	死者数	負傷者数	(内)重傷者
令和5年	155	0	177	16
令和4年	172	0	197	14
増減	-17	0	-20	+2

(2) 高齢者の交通事故防止

ア 高齢者交通安全教室の実施

各支部において、高齢者を対象とした体験・参加型の交通安全教室（自転車教室を含む）を38回、788人を対象に実施した。

イ 歩行シミュレータを活用した交通安全教育

運転免許センターにおいて、認知機能検査及び高齢者講習を受講した者等を対象に、歩行シミュレータによる体験型交通安全教育を181回、9,237人に対して実施した。（5月～本年3月）

ウ ドライバーズセミナー（シニアコース大分）の開催（後援）

5月21日(日)、大分県自動車学校において、JAF大分支部と連携して高齢者を対象とした体験型講習会を開催し、5名が受講した。

エ 交通安全グラウンドゴルフ大会の開催

交通安全意識の高揚を図るため、各支部において交通安全グラウンドゴルフ大会を開催又は協賛した。

- 大分中央支部（9/24：33人、9/26：40人）
- 中津支部今津連合分会（7/19：20人）、耶馬溪連合分会（9/28：40人）
- 豊後大野支部新田分会（7/16：60人）、三重東部分会（9/27：65人）、豊後大野支部（11/29：100人）

オ 独居老人宅訪問活動

大分南支部は、12月10日吉野分会一円に居住する独居老人宅を訪問し交通安全の呼びかけを行った。

※ 高齢者の交通事故発生状況（R5年1月～R5年12月）

	件数	死者数	負傷者数	(内) 重傷者
令和5年	930	19	483	116
令和4年	913	21	480	105
増減	+17	-2	+3	+11

(3) 交通安全のすそのを広げる県民運動の推進

令和5年度大分県交通安全県民運動実施要綱に掲げる運動の推進事項、「死亡事故等重大事故の更なる抑止～道路交通の場での緊張感の保持」「高齢者とこどもの交通事故防止」「飲酒運転の根絶～飲酒運転を許さない気運の醸成～」等を広く県民に呼びかけるための活動を実施した。

ア 街頭広報

県民の交通安全意識の高揚を図るため、県民交通安全日や春・夏・秋・冬の交通安全運動中に主要交差点等街頭において広報啓発活動を実施。各支部は、県民交通安全日、春・夏・秋・冬の交通安全運動期間中及び交通非常事態宣言発令期間中、主要交差点等の要所に横断幕やのぼり旗を設置して交通事故防止の広報啓発活動を行った。

また、各地域における街頭啓発活動「やまびこ運動」をはじめ、大分南支部による「庄内事故無（梨）梨配り」、杵築日出支部による「さわやか休憩所」、玖珠支部の「R210作戦」・「交通安全茶屋」、宇佐支部による「夏の事故ゼロクールダウンでスピードダウン運動」、竹田支部の「コーン2安全運動」や日田支部による「ツーリングバイクに対するスピードダウン呼びかけ活動」・「早めのライト点灯運動」など街頭活動に工夫を凝らしてドライバー等に交通安全を呼びかけた。

イ 広報車による広報

県民交通安全日、春・夏・秋・冬の交通安全運動中、交通非常事態宣言発令中など、各支部広報車による広報啓発活動を適宜実施した。

ウ マスメディア、ホームページ等を活用した広報

(7) 県協会

新聞、テレビ、ラジオ、ホームページ等を活用し、適宜、時節に応じた広報を実施した。

○ 新聞広報

春・夏・冬の交通安全運動の啓発広告、大分合同新聞「交通標識クイズ」「飲酒運転根絶」を企画した広告に協賛し、交通事故防止啓発広報を実施した。

○ テレビ広報

OBS、TOS、OABの各テレビスポットCMを活用し、春・夏・秋・冬の各交通安全運動期間中に集中して、交通事故防止を呼びかける広報を実施した。

○ ラジオ広報

4月から本年3月まで、毎週金曜日にFM大分「喫茶店Tomocafe」（11:30～11:55）とスポンサー契約し、「大分県交通安全協会の活動篇・6秒の深呼吸篇・彼はスマート篇」の3タイプをCMし、併せて付帯サービスで交通安全協会職員が出演する「交通安全トーク」により、交通事故防止を呼びかける広報を実施した。（4月～本年3月の間、FMラジオ4回職員出演）

○ ホームページ等

四季の交通安全運動及び交通事故発生状況、各種行事等のお知らせや各支部の活動状況をアピールした。

(イ) 各支部

地域の実情に応じた広報を実施するため、地域新聞（別府支部）、電光表示機（大分中央・玖珠支部）、ケーブルテレビ（別府・国東・日田支部）、商業施設店内放送（大分中央支部）、振興局防災無線・FMラジオ（佐伯支部）をそれぞれ活用。

エ その他県協会の広報活動

(7) 県協会広報紙「交通安全おおいた」発行

春・夏・秋・冬の交通安全運動前に各11,600部制作・発行し、運動の重点等を広報した。

(イ) 交通安全運動チラシ作成・配布

大分県交通安全推進協議会と共同で、春・夏・秋・冬の交通安全運動用チラシ各35,000枚を作成し、関係機関・団体等に配布して街頭活動等において活用した。

(ウ) 交通安全啓発ポケットティッシュ、反射材等配布

a 運転免許センターにおいて、認知機能検査を行った高齢者等を対象にした体験型交通安全教育（歩行シミュレータ）の受講者に対して、横断歩道でのマナーアップを呼びかける台紙を入れたポケットティッシュや反射材等を配布し、重ねて歩行中における交通事故防止の意識向上を図った。

b 各支部に自転車用スポークリフレクター（反射材）を配分し、自転車利用者等に対して自転車の安全利用と反射材の効果や交通事故防止を呼びかけるとともに、年末にかけて街頭活動時などで当該物品を広く配布して交通安全意識の高揚を図った。

オ 各支部の主なイベント活動

(7) ひまわりの絆プロジェクトへの参加

佐伯支部は、4月11日（木）弥生スポーツ公園において、警察署と協働して交通事故根絶の思いを込めて、4歳で亡くなった男児が育

てたひまわりの種をまくことで子ども達に命の大切さを伝えるイベントに参加した。

(イ) 交通フェアへの参加

中津支部は、5月14日（日）及び12月9日（土）商業施設において交通フェアに参加し、模擬信号機や横断マットを使用して交通安全教育指導、自転車シミュレータを展示し体験乗車等を行い、交通安全を呼びかけた。

(ウ) 第3回交通安全フェスタ in 山香への参加

杵築日出支部は、7月20日（木）杵築市役所山香庁舎において、交通安全フェスタに参加し高齢者と子供に交通安全を呼びかけた。

(エ) 第45回おおいた交通安全フェアへの参加

大分中央、大分東、大分南の3支部は、9月23日（土）大分市府内町の祝祭の広場において、参加体験型の各種展示やイベント・アトラクション等を通じて、市民に対して交通安全の普及・啓発を呼びかけた。

(オ) 竹田市交通死亡事故ゼロ連続1000日達成イベント参加

竹田支部は、10月6日（金）グランツ竹田で開催された交通安全大会において、竹田市交通死亡事故ゼロ連続1000日達成の祝イベントに参加した。

(カ) 大相撲大分場所会場における広報啓発活動

大分東支部は、12月6日、レゾナック武道スポーツセンターで開催された大相撲大分場所会場において、来場者に対して交通安全チラシや反射材等を配布して交通事故防止を呼びかけた。

(キ) 交通安全スポーツ吹き矢大会

宇佐支部は、12月9日（土）宇佐小学校体育館において、スポーツ吹き矢と交通安全のコラボで、楽しく健康によいスポーツ吹き矢大会を開催し、宇佐支部3分会が参加した。

カ 交通安全DVD、ビデオの貸出

県協会は、県民や企業に対し、交通安全DVD・ビデオを無償で貸出した。（11箇所13本）

キ 後援・協賛事業

- JA共済による交通安全ポスター募集事業の後援
- OBS大分放送による「OBSハッピーキッズキャンペーン」の後援

- 一般社団法人日本自動車連盟（J A F）による「ドライバーズセミナー・シニアコース大分」の後援
- 大分県二輪車普及安全協会による「グッドライダーミーティング大分」の後援
- 大分県二輪車安全運転指導員会による「二輪車安全運転講習会」の後援
- 大分県警察による「県警ふれあいコンサート」の協賛
- 大分県安全運転管理協議会「豊の国セーフティーチャレンジ2023」の協賛
- 大分市による「大分市交通安全フェア」の協賛
- 大分県交通安全推進協議会「大分県交通安全ポスターコンクール」の協賛
- 大分合同新聞社企画「春の全国交通安全運動」・「夏の事故ゼロ運動」・「冬の事故ゼロ運動」・「交通標識クイズ」・「飲酒運転根絶キャンペーン」・「おおいたキャラクター図鑑」の協賛

※ 飲酒による交通事故の発生状況（R5年1月～R5年12月）

	件数	死者数	負傷者数	(内)重傷者
令和5年	21	4	25	5
令和4年	22	4	26	2
増減	-1	0	-1	+3

※ 死亡事故シートベルトの着用状況（R5年1月～R5年12月）

	全死者	四輪乗車中	シートベルト着用の有無					
			着用		非着用		不明	
			死者	構成率	死者	構成率	死者	構成率
令和5年	32	14	10	71.4%	3	21.4%	1	7.1%
令和4年	32	15	8	53.3%	7	46.7%	0	
増減	0	-1	+2		-4		+1	

(4) その他の活動

ア 大分県交通安全県民大会における交通安全功労者等表彰

9月14日(木) J:COM ホルトホールにおいて、交通安全活動に従事するボランティアや無事故・無違反を続ける運転者に対し、優良運転者10年・15年・20年・30年・40年・50年表彰や交通安全功労者等表彰を実施。また、九州管区交通安全協会会長表彰、緑十字銅章表彰を上申し、受賞者に伝達。

※ 交通安全功労者(団体)・優良運転者等

	交通安全功労者	功労団体 優良団体	優良運転者				優良職員等	優良学校 安管等
			20年	30年	40年	50年		
大分県連名表彰	19人	3団体	39人	50人	77人	44人	1校	
九州管区表彰	9人	2団体	35人				3人	事業所1・安管1人
全国表彰(緑十字銅章)	9人		105人					安管1人

※ 交通安全国民運動中央大会

令和6年1月17日、東京都において交通安全国民運動中央大会が開催され、秋篠宮皇嗣同妃両殿下の御臨席のもと表彰式が行われた。

○ 交通栄誉章緑十字金章2人、緑十字銀章6人、優良事業所1事業所、優良安全運転管理者協議会1協議会が受賞した。

イ 自転車の安全利用の推進

(7) 自転車利用者に対する安全教育

幼児、小・中・高校、高齢者及び一般者に交通指導員を派遣し、体験・参加型の自転車教室を実施した。

自転車教室は、延べ289回、18,111人を対象に実施。

(幼児1回 3人、小・中・高校生247回 17,203人、高齢者26回 546人、一般15回 359人)

(イ) 自転車保険への加入促進（TSマークの普及）

自転車安全整備制度の周知とともに、TSマークの普及促進を図るため、5月19日及び本年2月9日開催の高等学校交通安全教育推進連絡会議において参加高校教員等）に対してTSマーク加入促進の説明をした。

※ 自転車の交通事故発生状況（R5年1月～R5年12月）

	件数	死者数	負傷者数	(内)重傷者
令和5年	302	1	294	38
令和4年	304	1	304	46
増減	-2	0	-10	-8

ウ 二輪車の交通事故防止

(ア) 二輪車安全運転講習会の開催

春・秋の行楽期におけるバイクツーリングによる交通事故及び日常の交通事故防止対策として、大分県警察との共催により、「大分県二輪車安全運転講習会」を開催した。

- 大分県運転免許センター <春期>：4月23日(日)実施、受講者31名（男27名、女4名）
- 大分県運転免許センター <秋期>：9月10日(日)実施、受講者25名（男23名、女2名）

(イ) 大分県二輪車安全運転指導員会が主催する二輪車安全運転講習会の開催（後援）

- 大分県運転免許センター 6月4日(日)実施、受講者9名（男7名、女2名）
- 大分県運転免許センター 10月29日(日)実施、受講者17名（男15名、女2名）

(ウ) 日本二輪車普及安全協会が主催するグッドライダーミーティングの開催（後援）

- 大分県自動車学校 6月25日(日)実施、受講者10名（男8名、女2名）

※ 二輪車の交通事故発生状況（R5年1月～R5年12月）

	件 数	死 者 数	負 傷 者 数	(内) 重 傷 者
令和5年	213	6	184	61
令和4年	233	2	200	55
増 減	-20	+4	-16	+6

エ 交通事故相談

交通安全活動推進センターとして、関係機関と緊密な連携を図りながら、示談や損害賠償等の交通事故に伴う相談・助言対応。
交通事故相談件数は0件。（昨年2件受理）

オ 道路危険箇所等の点検

道路危険箇所及び交通安全施設の点検、道路標識・カーブミラー等の清掃活動、立看板補修設置作業を実施した。

- 大分中央支部 明野東校区内（5/11～5/20、7/14～7/20、9/21～9/30）
- 大分東支部 佐賀関地区（7/14～7/20）
- 大分南支部 賀来分会一円（5/14、7/17、9/28）
挾間分会一円、吉野分会一円（7/16）
- 杵築日出支部 山香東分会地域一円（7/17）
山香上地域一円（12/10）
大田地域一円（12/3）

以上のとおり、重点活動に対する各種施策を推進した結果、令和5年中の交通事故死者数は、統計資料が現存する昭和27年以降最少を記録した令和4年に並ぶ32人となり、第11次大分県交通安全計画の「令和7年度までに継続して年間交通事故死者数を34人以下」を連続して抑止することができた。また、交通事故の発生件数、負傷者数についても19年連続で減少傾向が継続している。

この結果を受け、本年1月22日、大分県警察本部長はその功労に対し深甚なる感謝の意を表され、公益財団法人大分県交通安全協会をはじめとする関係機関・団体に対して感謝状を贈呈され、また、1月29日には、交通部長から大分県女性ドライバー協議会等に対しても感謝状が贈呈された。

しかしながら、負傷者の内、重傷者数が増加に転じたことや交通事故死者の半数以上を高齢者が占めたほか横断歩道を横断中の歩行者が犠牲となる交通死亡事故が増加するなど、まだまだ取り組むべき課題が残った。

※ 県下の交通事故発生状況（R5年1月～R5年12月）

	件 数	死 者 数	負 傷 者 数	(内)重傷者数
令和5年	2, 233	32	2, 767	268
令和4年	2, 271	32	2, 804	235
増 減	-38	0	-37	+33

3 期間を定めての活動

次の期間、集中的・効果的に交通安全活動を推進

運 動 名 等	実 施 期 間	日 数	県内一斉行動日
おおいた春の交通安全こども見守りキャンペーン	4月14日(金)から20日(木)まで	7日間	4月20日(木)
自転車月間	5月 1日(月)から31日(水)まで	31日間	
春の全国交通安全運動	5月11日(木)から20日(土)まで	10日間	5月11日(木)、19日(金)
交通マナーアップキャンペーン	7月 1日(土)から31日(月)まで	31日間	
おおいた夏の事故ゼロ運動	7月14日(金)から20日(木)まで	7日間	7月14日(金)、20日(木)
秋の全国交通安全運動	9月21日(木)から30日(土)まで	10日間	9月21日(木)、29日(金)
飲酒運転根絶キャンペーン (イベント)	12月1日(金)から12月20日(水)まで (12月8日(金) 大分市竹町ドーム広場)	20日間	
おおいた冬の事故ゼロ運動	12月6日(水)から12月12日(火)まで	7日間	12月6日(水)、12日(火)
マナーアップの日	毎月 1日	毎月1日	
県民交通安全日、飲酒運転根絶県民運動の日	毎月20日	毎月1日	

4 行政機関から委託等を受けた事業

(1) 更新時講習、停止処分者・違反者講習

各講習の目的に沿って、講習体制を整備し、適正かつ効果的な講習を実施した。

(2) 運転免許関係事務

更新通知・高齢者講習通知等をはじめ県民への利便性に配慮した適正かつ確実な業務を推進した。

(3) 自動車保管場所証明・届出等の電算入力業務

適正かつ確実な業務を推進した。

(4) 道路使用許可調査業務

大分中央警察署管内及び大分東警察署管内における、工事等による道路使用の許可条件の履行及び原状回復の状況等を調査し、交通の安全と円滑に寄与した。

※ 調査員による調査状況

○ 大分中央警察署管内 3, 049件、指導警告事案無し

○ 大分東警察署管内 1, 300件、指導警告事案無し

(5) 体験型交通安全教育業務（受託期間：令和5年5月1日から令和6年3月29日までの間）

ア 子供に対する交通安全教育（目標：21, 600分以上）

県内、中学校及び高校等に対し自転車シミュレータを活用した体験型交通安全教育を推進した。

101. 9%達成〔実施時間 22, 005分 受講者 4, 912人（中学7校、高校6校、支援学校2校、その他42）〕

イ 高齢者等に対する交通安全教育（目標：67, 200分以上）

運転免許センターにおいて、歩行シミュレータを活用した体験型交通安全教育を推進した。

102. 7%達成〔実施時間 68, 995分 受講者 9, 237人（181日間）〕

ウ 一般運転者等に対する交通安全教育（目標：33, 600分以上）

県内、事業所において、ドライビングシミュレータを活用した体験型交通安全教育を推進した。

101. 4%達成〔実施時間 34, 075分 受講者 1, 636人（92事業所）〕

(6) 収入証紙の売り捌き（許認可）業務

県民の利便性に配慮した適正かつ確実な業務を推進した。

(7) 日本交通管理技術協会関係業務

ア 自転車安全整備店（非組合店）登録申請等に伴う現地調査・手続き等

整備店作業場としての基準の適合性調査及び各種登録（新規・更新・再登録）手続きを実施した。

（令和5年度：新規3件・更新11件・再登録2件）

イ TSマークの交付業務

令和5年度交付件数（緑色）1,020件、（赤色）5,260件、（青色）3,100件

ウ TSマーク付帯保険の適用に伴う調査

TSマーク貼付自転車の交通事故に係る自転車店への確認調査（令和5年度：0件）

5 大分県自動車学校における事業

(1) 優良運転者の育成

車社会に多くの運転者を送り出している指定自動車教習所の社会的責任・役割を果たすため、安全運転の知識・技能について高い教習を実施し、優良運転者を育成するとともに、初心運転者の事故率の低減を図った。

○ 令和5年度における教習生入校状況（人）

	四 輪	二 輪	合 計
令和5年度	941	161	1,102
令和4年度	985	230	1,215
増 減	-44	-69	-113

(2) 地域交通安全研修センターとしての積極的な活動

ア 高齢者講習

高齢運転者が増加する中、公益法人設立の指定自動車教習所として、講習体制を整備し、適正かつ効果的な講習を実施。

○ 高齢者法定講習

(人)

	R4. 4. 1～ 5. 12		R4. 5. 13～R5. 3. 31			総 計
令和4年度	合理化	高度化	実車あり	実車なし	運転技能検査	4, 411
	285	56	3, 770	199	101	
令和5年度	R5. 4. 1～R6. 3. 31					総 計
			5, 570	294	136	6, 000

※ 合理化（高齢者講習2時間対象者） 高度化（高齢者講習3時間対象者）は、令和4年5月12日まで

- ・ 運転シミュレータ、講習用ビデオ映画、新聞記事さらには身近な事故事例等、常に新しい教材により充実した講習を実施中。
- ・ 実車講習による的確な是正指導と講習時の事故防止を図る。

イ 取消処分者講習、初心運転者講習

公安委員会からの指定を受けた講習について、適正かつ効果的な講習を実施。

○ 令和5年度における取消処分者講習

	一 般	飲 酒	合 計
令和5年度	5	7	12
令和4年度	4	18	22
増 減	+1	-11	-10

○ 令和5年度における初心運転者講習

	普通	準中型	自動二輪	原付	合計
令和5年度	11	0	3	1	15
令和4年度	13	0	2	1	16
増減	-2	±0	+1	±0	-1

ウ 企業安全運転講習、ペーパードライバー教習等

職業ドライバーに対する企業安全運転講習からペーパードライバーまで幅広く、目的に沿った効果的な講習実施。

○ 令和5年度における免許取得者教育講習

	1号課程	2号課程	4号課程	5号課程	7号課程	8号課程	合計
令和5年度	72	0	0	0	0	555	627
令和4年度	67	0	0	0	0	518	585
増減	+5	0	0	0	0	+37	+42

- ・ 1号課程～ペーパードライバー講習
- ・ 2号課程～二輪車安全運転体験講習
- ・ 4号課程～高齢者安全運転体験講習
- ・ 5号課程～高速・悪条件下等安全運転体験講習
- ・ 7号課程～二人乗り走行体験講習
- ・ 8号課程～企業・職域等安全運転講習

エ 障害者に対する教習

障害者に対する講習体制を整備し、適正かつ効果的な講習を実施。

6 会議

(1) 全国会議

本年3月13日(水)に都道府県交通安全協会専務理事等会議が東京都で開催され、専務理事が出席した。

(2) 当協会が主催する会議

ア 理事会

- 6月8日(木)に第38回理事会をトキハ会館5階「カトレアの間」において開催し、会長以下17名が出席した。
- 12月5日(火)に第39回理事会をトキハ会館5階「カトレアの間」において開催し、会長以下16名が出席した。
- 本年3月19日(火)に第40回理事会をトキハ会館5階「カトレアの間」において開催し、会長以下18名が出席した。

イ 評議員会

6月28日(水)に第20回評議員会をトキハ会館5階「ローズの間」において開催し、評議員9名が出席される中、会長以下15名で議事が行われた。

ウ 理事・評議員合同会議

6月28日(水)に理事・評議員合同会議をトキハ会館5階「ローズの間」において開催し、県生活環境部長、県警本部長、県警交通部長を来賓として迎え、会長以下27名が出席して、退任役員表彰並びに新たに選任された評議員・理事の紹介を行った。

エ 支部事務局長会議

11月17日(金)に支部事務局長会議をレゾナックドーム大分会議室において開催し、専務理事以下19名が出席し、インターネット環境整備に伴う事務の効率化や今後のこども自転車大会の開催等について審議した。

(3) 九州会議

ア 九州交通安全協会定例総会

4月20日(木)に福岡県で開催され、専務理事が出席した。

イ 九州各県交通安全協会専務理事・事務局長会議

10月12日(木)に佐賀県で開催され、専務理事が出席した。

(4) 県会議等

ア 大分県交通安全推進協議会委員会

6月5日（月）J:COM ホルトホールにおいて、大分県交通安全推進協議会委員会が開催され、当委員会副会長である杉原会長が出席した。
また、委員である大分県女性ドライバー協議会佐藤会長も出席した。

イ その他

- 交通安全教育推進連絡会議「第1回中央会議」（5/19～企画指導室長出席）
- 安全運転管理者社員総会（5/18～専務理事出席）
- 大分県高速道路交通安全協議会総会（令和2年以降書面開催につき書面決議書提出）
- 大分市自転車走行空間ネットワーク整備推進協議会（7/26～専務理事出席）
- 大分県新長期総合計画策定県民会議（9/6～専務理事出席）
- 大分県道路交通環境安全推進連絡会議アドバイザー会議（9/27～専務理事出席）
- 大分県指定自動車教習所協会・管理者会議（11/27～専務理事・学校長出席）
- 交通安全教育推進連絡会議「第2回中央会議」（本年2/9～企画指導室主事出席）
- 大分県新長期総合計画策定県民会議（本年2/21～専務理事出席）

7 研修

(1) 当協会が主催する研修

職員や関係者に必要な知識や技能を習得させる機会を設けることにより、職員等個々の資質の向上を図るための各種研修会を実施した。

ア 交通指導員等研修会

新人職員研修会

令和5年4月11日（火）大分県運転免許センター（K5）において開催し、新人職員（令和4年10月1日以降に採用）7名が参加。
接遇マナー研修の他、協会業務全般、免許業務、運転免許センターの見学等を実施した。

イ 大分県女性ドライバー協議会研修会

夏の事故ゼロ運動期間中の7月18日（火）、J:COM ホルトホール大分において研修会を開催し、警察本部交通企画課担当者の講演及び体験

型交通安全教育活動（歩行シミュレータ・自転車シミュレータ）の研修を行った。

ウ 大分県二輪車安全運転指導員研修会

本年2月18日（日）運転免許センターにおいて、二輪車安全運転指導員の資格を有する12名に対して、特別指導員9名と白バイ隊員1名による安全運転知識及び運転技能を指導した。

(2) 研修会等への派遣

職員や関係者に必要な知識や技能を習得させることにより資質の向上を図るため、専門機関や関係機関が開催する研修会等に派遣した。

ア 道路使用適正化業務担当責任者研修会（5/12～調査員出席）

イ 地域交通安全活動推進委員全国研修会（6/23～別府地区地域交通安全活動推進委員協議会会長・警察本部交通企画課員出席）

ウ 自転車安全教育特別指導員講習会（11/16・17～津久見支部交通指導員出席）

エ 安全運転センター中央研修所における研修

業務に必要な資格取得あるいは資質向上のため、県自動車学校職員を自動車安全運転センターが主催する研修会に派遣した。

○ 令和5年度における中央研修所受講状況

	回数	受講人員	備考
教習指導員（普通）課程	0	0	
高齢者講習指導員課程（四輪車・二輪車）	3	3	2日間

オ その他

○ 令和5年度における県自動車学校指導員・検定員の講習受講状況

	回数	受講人員
副管理者講習	1	5
技能検定員講習	3	20
教習指導員講習	2	3
合計	6	28